

2020-21 年度国際ロータリーテーマとRI会長のメッセージ



Rotary Opens Opportunities 「ロータリーは機会の扉を開く」

2020-21 年度国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク 氏
ヘルツォークトゥム・ラウエンブルグ RC (ドイツ)



ロータリーはあらゆる機会を提供しています。奉仕の機会、リーダーシップの機会、世界を旅する機会、生涯続く友情の絆を築く機会、新しい会員を受け入れる機会等々。

ロータリーを有機的かつ持続可能なかたちで、成長させるためには、現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員をいかに募れるかにあります。

アジアのロータリアン数は北米のロータリアン数を上回っています。しかし、ロータリー発祥の地域や、高齢化が進む地域で、ロータリーは衰退し高齢化しています。この大きな変化に適応しなければなりません。

ロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観に沿ったロータリーでなければなりません。そのためにはロータリーの目的に合致したローターアクターや若い職業人・女性に扉を開かなければなりません。

新しい人と出会い、その人達にロータリーを楽しんでもらうことは、私たち自身にとっても楽しみであることを忘れてはなりません。私たちは、互いのつきあいを楽しみながら、さまざまな活動で充実した時間をすごしています。このような楽しい経験を生かす必要があります。

楽しむための一番の方法は皆が集まることです。ロータリーのビジョン声明の最初の一語がこの言葉 **Together** で始まっています。

Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change across the globe, in our communities, and in ourselves.

(私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています)

ロータリーとはクラブに入会するというだけでなく、無限の機会への招待です。ポリオ根絶のように大規模で歴史的なプロジェクトから、地域社会でのささやかなプロジェクトや1本の植樹まで、奉仕する機会への扉を開いてくれます。

私たちの中核的価値観を基に、世界中の友人たちとともに、より豊かで意義ある人生への機会の扉を開いてくれます。「ロータリーは機会の扉を開く」です。

2020～2021年度 国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク 氏 略歴
(Holger Knaack)

Herzogtum Lauenburg-Mölln ロータリークラブ所属（ドイツ）
（ヘルツォークトウム・ラウエンブルク・メルン・ロータリークラブ）

1992年にロータリー入会。ロータリーの財務長、理事、モデレーター、各種委員会の委員や委員長、規定審議会代表議員、ゾーンコーディネーター、研修リーダー地区ガバナー、2019年ハンブルグ国際大会ホスト組織委員会の共同委員長を歴任。現在は恒久基金／大口寄付アドバイザーを務める。

不動産業を営む「Knaack KG」のCEO。125年続く家族事業の「Knaack Enterprises」の元パートナー兼ゼネラルマネジャー。

地域社会では、ラッツェブルク市市民財団の創設メンバーであり、Gut Grambec ゴルフクラブの会長を務めた経験をもつ。カール・アダム財団の会長で創設者。

スザンヌ夫人とともにメジャードナー、遺贈友の会会員としてロータリー財団を支援。



ロータリーは機会の扉を開く